

穴吹不動産流通(株)鹿児島店**「市況レポート(2023年7月)」**

南日本新聞より引用

23年路線価 天文館3年ぶりに上昇 鹿中央駅東口1.1%増

熊本国税局より3日、2023年分の路線価が公表されました。鹿児島県内では鹿児島市東千石町の天文館電車通りが1平方メートル当たり91万円で最も高い結果となりました。

同地点が県内最高となるのは31年連続です。前年より1万円(1.1%)増で、20年以来3年ぶりに上昇しました。県庁所在地の最高路線価としては前年と同じ17位。同市中央町のJR鹿児島中央駅東口電車通りは1万円(1.1%)増の89万円でした。県内11税務署の最高地点は、大島署を除く10署で前年と同じでした。最高路線価は鹿児島の1署のみが上昇、川内、鹿屋、知覧の3署が下落、残り7署が横ばいとなりました。下落率が最も大きいのは南さつま市加世田本町の国道270号線でマイナス3.1%。各地の路線価は国税庁ホームページで公開されています。

2023年7月日本銀行鹿児島支店 鹿児島県金融経済概況より

【概要】 鹿児島県の景気は、緩やかに回復している。すなわち、最終需要面をみると、個人消費は緩やかに回復している。観光は緩やかに回復している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。生産は、弱めの動きとなっている。

企業部門の動向を短観(6月<鹿児島・宮崎両県集計分>)で見ると、設備投資は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

【各論】 1. 個人消費 百貨店・スーパー販売額は、前年を上回って推移している。家電販売額は、前年を下回って推移している。乗用車新車登録台数(含む軽自動車)は、前年を上回って推移している。2. 観光 主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を上回って推移している。3. 公共投資 公共工事請負金額は、前年を下回った。4. 住宅投資 新設住宅着工戸数は、分譲を中心に前年を下回った。5. 生産 鉱工業生産指数(季節調整済)は、電子部品・デバイス、食料品を中心に前月を下回った。6. 雇用・所得環境 有効求人倍率(季節調整済)は、低下した。現金給与総額は、前年を上回った。常用労働者数は、前年を上回って推移している。7. 物価 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回って推移している。8. 金融面 預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、前月を下回った。企業倒産件数は、前年を上回った。

【まとめ】鹿児島市ではJR鹿児島中央駅周辺や区画整理が進むJR谷山駅周辺など利便性が高い地域の需要が堅調です。お手持ちの不動産で現在ご利用されていらっしゃる土地・戸建・マンションございましたら仲介、買取りもごさいます。まずは無料査定からお気軽に是非弊社までご相談下さい。